

# Communication Terminal を使用した コマンドによるパルスジェネレータ制御

Communication Terminal プログラムは、Quantum Composers パルス ジェネレータをリモートで制御するための有用な方法であり、すべてのパルス ジェネレータに利用できます。

## インストール

Communication Terminal プログラムをインストールするには、製品付属のメモリー媒体内の Software \ Comm Terminal にある「Serial Comm Terminal Setup.exe」を実行します。または、ソフトウェアダウンロードサイト内で、[Com Terminal](#) をクリックすると Com Terminal.zip が自動でPCにダウンロードされます。

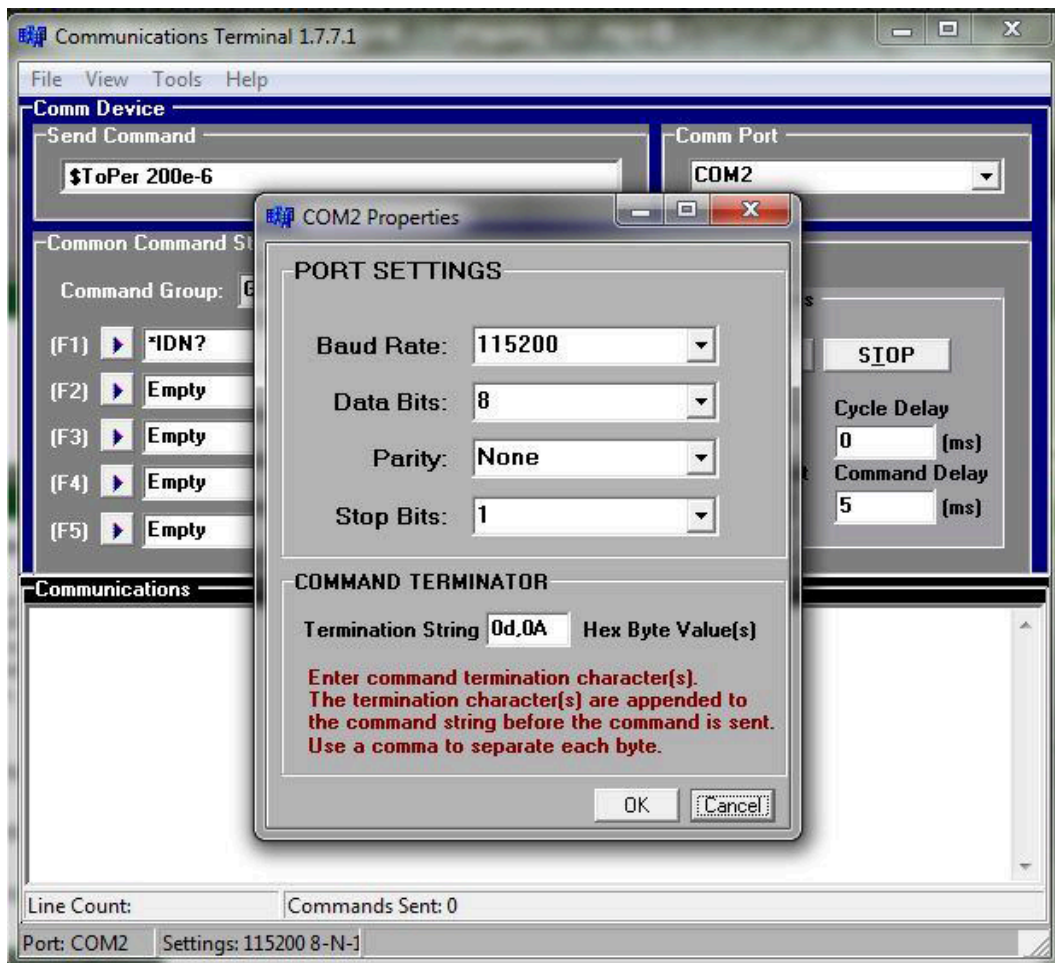
[ソフトウェアダウンロードサイトのご案内](#)

プログラムは、Windows 7 の場合はプログラム ファイル (x86) ディレクトリ (\Program Files (x86)\Quantum Composers\Comm Terminal)、**その他のすべてのバージョンの Windows** の場合は C:\Program Files ディレクトリに「QC\_CommTerminal.exe」がインストールされます。  
(C:\Program Files\Quantum Composers\Comm Terminal)

## ソフトウェア構成

ソフトウェアを初めて立ち上げると、Comm Port を選択する必要があることがプログラムに表示されます。

Comm Propaties を構成する前に、Comm Port を選択する必要があります。Communication Terminal プログラムを使用して Quantum Composers のパルスジェネレータと通信するには、Comm Propatiesを構成する必要があります。Comm Propaties には、メニューバーの Tools ボタンからアクセスできます。



ソフトウェアのBaud Rate は、ユニットのBaud Rate 設定と一致する必要があります。  
ソフトウェアのデフォルトのBaud Rateは 115200 に設定されています。ベンチトップユニットの Baud Rate設定にアクセスするには、FUNCボタンを押してから、ユニット自体のSYSTEMボタンを押します。Data Bits は 8、Prity は「None」、Stop Bits は 1 に設定する必要があります。  
COMMANDTERMINATOR は、Terminationを確実にを行うために 0D、0A に設定する必要があります。

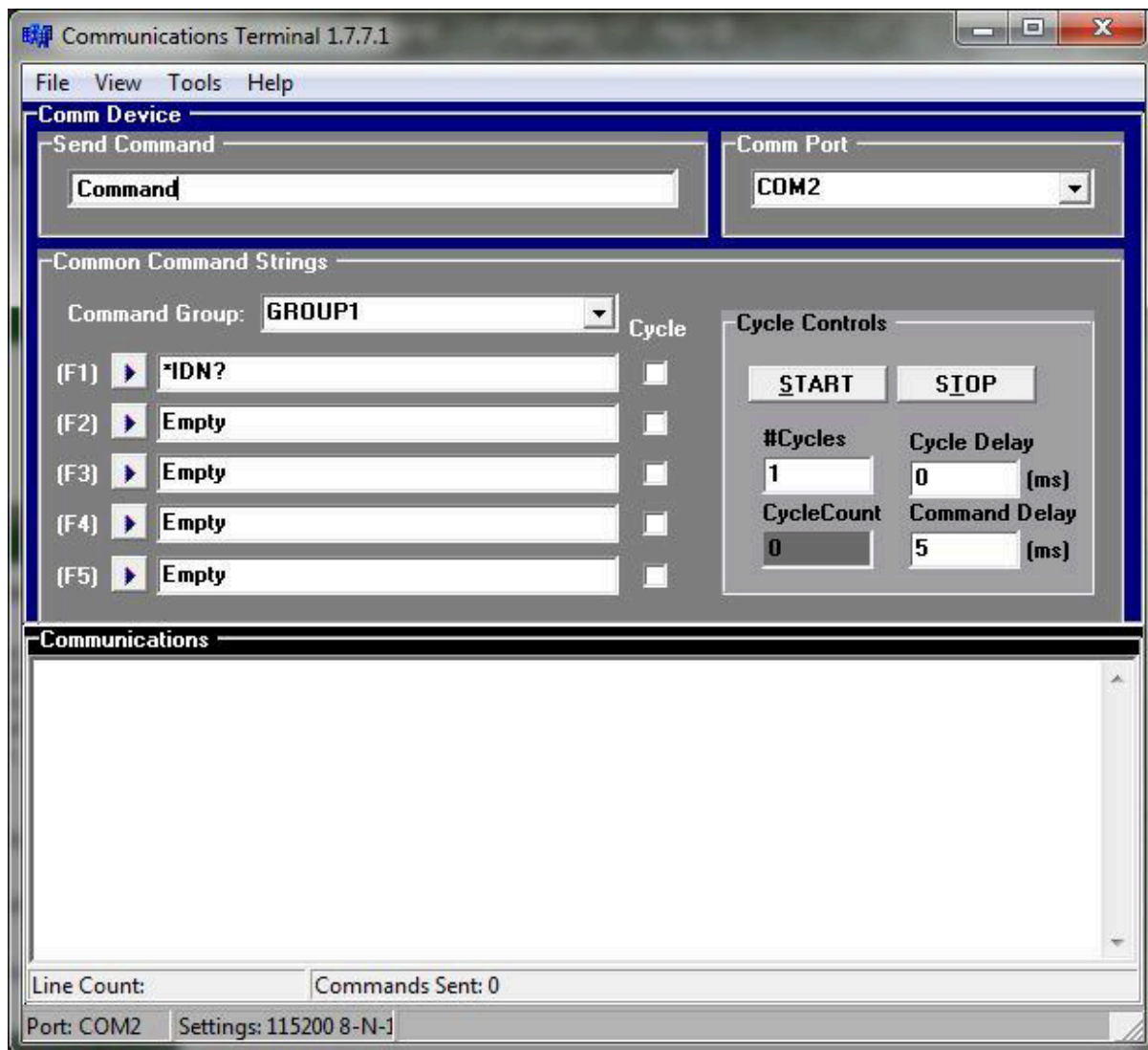
## 通信

パルス ジェネレータとの通信は、次の 3 つの方法のいずれかで実行できます。1 つのコマンドを手動で送信するか、1 サイクル (またはサイクル数) で最大 5 つのコマンドを送信するか、コマンド ファイルをロードします。

1 つのコマンドの場合は、送信コマンド フィールドにコマンドを入力して Enter キーを押すことで手動で送信できます。

送信されたコマンドとユニットの応答は、通信ボックスに表示されます。

Command Groupを使用して、最大 5 つのコマンドをユニットに連続して送信することもできます。ユニットに送信するコマンドの順序で、最大 5 つのコマンド (F1 から F5) を入力します。ユニットに送信するCommo Command Settingsの横にあるCycle Controls でスタート ボタンを押します。コマンドは、コマンド文字列に配置された順序でユニットに 1 回送信されます。コマンドの実行サイクル数は #Cycles ボックスで変更できます。



コマンド ファイル機能を使用して、多数のコマンドを連続して送信することも可能です。コマンド ファイルは、テキスト ファイルに保存されたコマンドのリストです。メニュー の File>Open Command File を選択して読み込みます。

Comm Terminal ソフトウェアは、Quantum Composer社 の標準パルス ジェネレータのすべての通信ポートで動作します。

9200 Sapphire シリーズのパルス ジェネレータは、独自のグラフィカル ユーザーインターフェース (GUI) ソフトウェア パッケージが付属していますが、9200のコマンドを使用してComm Terminal ソフトウェアでも制御できます。

Comm Terminal ソフトウェアは、Quantum Composers がパルス ジェネレータをリモートで制御/通信する操作をユーザーがより迅速かつ簡単に行えるようにした方法の1つです。

ユニットの動作方法についてご質問がある場合、またはプロジェクトに特別な要件がある場合は、(株)オプトサイエンス (info@optoscience.com) にお問い合わせください。